

令和8年東通消防団出初式



坂本 義彦 団長による挨拶



観閲する畑中 稔朗 村長



観閲する奥島 涼子 教育長



祝辞を述べる川端 一松 議長



観閲者



砂子又八幡宮 参拝



纏組による纏振り演技



車両点検

1月31日、東通村体育館において「令和8年東通村消防団出初式」が挙行されました。

当日は、坂本 義彦 団長をはじめ、村内20分団175名の団員が参加し、特別参加として防衛装備庁下北試験場消防隊も加わりました。一同は、畑中 稔朗 村長の観閲を受け、新年における防火・防災への決意を新たにしました。

式では、現況報告に続き、通常点検、砂子又八幡宮への参拝、車両点検、纏振り演技が執り行われました。式の挙行にあたり、坂本団長は、昨年12月に発生した青森県東方沖地震を挙げ「地域防災の中核としての重要性を認識し、迅速で的確な対応ができるよう、防災・減災活動に励んで参ります」と挨拶を述べました。

日頃から防火・防災意識を高め、村民一人ひとりが火の取り扱いに気をつけましょう。